

活動成果報告書

平成25年度（第17回）「チヨダ地域保健推進賞」

活動テーマ

ひきこもりがちな若者と保護者への支援
～NPO法人との協働・関係機関との連携をとおして～

応募グループ名称及び氏名（グループの場合は代表者名）

三好保健所 健康増進担当
代表者：森岡 圭子

・関係者へのスキルアップ研修会にて、「すりーぴい」（居場所）を見学した後、元当事者である代表者より話を聞く



勤務先：三好保健所

所 属：健康増進担当

所在地：〒778-0002

徳島県三好市池田町マチ2542番地の2

T E L：0883-72-1123

F A X：0883-72-6884

E-Mail：morioka_keiko_1@pref.tokushima.lg.jp

◇活動方針

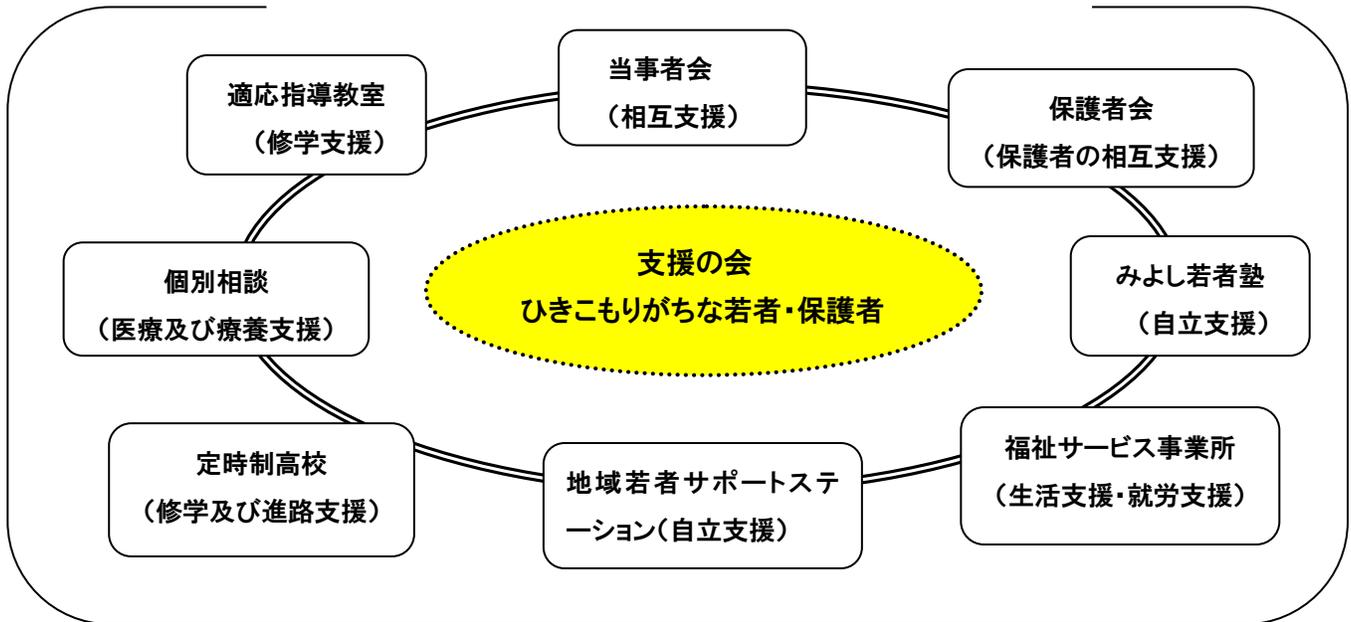
継続的に、NPO法人や管内の関係機関と連携をすることで、管内のひきこもりがちな若者や保護者に対するサービスの幅を広げ、サービスの質の向上をはかる。

◇活動内容

「ひきこもり」は様々な要因によって社会的な参加が狭まり、自宅以外での生活の場が長期にわたって失われる状態をさしている。本人はもとより家族や周りの人々に対する影響も大きく、個人が対応できる範囲を超えた社会問題となりつつある。また、それぞれが抱える問題は長期にわたり継続することが多く、家族にとっては精神的な負担が大きく、家族自身が元気をなくす場合も少なくない。当保健所では、平成15年度から管内病院で実施されていた当事者会や適応指導教室と連携し、当事者同士の交流会や保護者の学習会を実施してきた。また、平成17年度からは保健所で個別相談を実施。平成20年度からは、ひきこもりがちな若者の居場所づくりに取り組んできた。その後、平成21年度には、居場所として「みよし若者塾フリースペースすりーぴい」が開設され、平成24年度にはNPO法人「みよしサポート協会ぴあぞら」が設立され居場所を運営している。現在も少人数ではあるが若者が居場所への通所を継続している。

活動成果報告書

三好保健所管内における若者支援ネットワーク



今年度（平成25年度）事業報告

1 ひきこもりの当事者への支援

① NPO法人の運営する「みよし若者塾フリースペースすりーぴい」の活動支援

「みよし若者塾フリースペースすりーぴい」はひきこもりの体験のある当事者がスタッフとなり運営している。毎週（火）、（木）、（土）に活動として学習会やレクリエーションを実施している。保健所としては、随時スタッフの相談等の支援を行っている。

② ひきこもり状態にある若者に対する個別相談

地域の中でひきこもり状態にある若者に対しては、家庭訪問や面接等を行うとともに、必要に応じ「みよし若者塾フリースペースすりーぴい」に繋いでいる。

③ 適応指導教室・プロジェクトFT（管内病院で実施するひきこもり等当事者会）への活動支援

管内の不登校の子どもやひきこもりの若者等の交流の場として視察を兼ねた研修旅行やクリスマス会を開催し交流を図っている。

2 ひきこもりの家族への支援

① 家族を対象とした研修会の開催

ひきこもりへの対応や知識を習得するために、家族を対象とした研修会を開催し家族支援を行っている。（平成26年3月開催予定）。また、NPO法人が開催する研修会等にも家族や関係者へ周知を図る等連携しながら家族支援を行っている。

② NPO法人の実施する家族教室への支援

NPO法人の実施する家族教室支援として、保健所で把握した家族の紹介や必要に応じ助言等の支援を行っている。

活動成果報告書

④ 家族に対する個別相談

3ヶ月に一度保健所で専門家によるひきこもりの個別相談を実施している。また、家族からの相談は随時受け、保健師による面接や訪問支援を行っている。

3 各関係者のスキルアップ

管内のひきこもりに関わる関係者のスキルアップを目的として研修会や事例検討会を開催している。

① 各関係者を対象とした研修会の開催

- ・ボランティア・民生委員対象の研修会（9月26日）
- ・病院・施設職員対象の研修会（2月13日）元当事者である「すりーぴい」代表者が活動成果発表

② 事例検討会等の開催

随時、事例検討会を開催し、各関係者のスキルアップを図っている。

4 ひきこもりの若者等支援ネットワークの充実

不登校やひきこもり等の若者支援関係者が顔の見える関係を作るとともに、地域で支えるネットワークの充実を図っている。

① NPO法人の開催する「みよし地域若者自立支援の会」への支援（3月17日）

② その他管内における若者支援ネットワークの連携や調整のための支援。

5 学校との連携

管内の子どもたちが将来における心身の健康と生きる力を育むため、各学校と連携し出前講座や調査研究等を実施している。

① 心の健康に関する出前講座

- ・コミュニケーションのスキルやストレス解消法等生きる力を育むための心の健康教育を実施。
- ・希望のあった小中学校の生徒に対して、年間10回実施

② 「生活習慣と心の健康に関するアンケート調査」の実施

- ・平成25年11月に実施し、現在分析中であり、今後ワーキング部会を開催し、今後のひきこもり対策について検討していく予定

◇今後の計画

来年度も引き続き、ひきこもりがちな若者への支援として、当事者及び保護者への支援をNPO法人と連携して実施していく予定である。行政でできること、NPO法人としてできること、両者の連携でできること等その役割を認識しつつ効果的な支援のあり方を模索し実施していきたい。

また、今後NPO法人が居場所をどう発展させていくのか、地域の支援機関として見守っていきたい。NPO法人としては、設立したものの経済的な基盤は脆弱であり、地域への普及啓発も十分とは言い難い状況である。居場所が地域において定着し、ひきこもりの社会資源として位置づけられるよう、スタッフへの協力や支援はもちろん利用の促進を図って行きたい。また、地域の関係機関とのネットワークづくりには、今まで以上に充実化を目指して行きたいと考える。

以上